

あんなかの おしごとと通信 Vol.18

安中市で行っている取り組みや事業を紹介します。

窓口での番号札の利用を始めました 発券機ご利用の流れ

困1階市民課と国保年金課では、3月から業務別に発券機で受付し(番号札が発券)、番号案内表示パネルと音声でのご案内をはじめました。



①申請書や届出書を記載



②発券機の画面パネルで希望する業務にタッチし、番号札をとる。



③番号が呼ばれたら該当する窓口へ



④窓口で記載した申請書を渡す

※証明書交付などは再度番号をお呼びするので、交付窓口で手数料の支払いを行い、証明書の交付を受けてください。

問合せ▶困市民課窓口係(☎内線1104) 困国保年金課(☎内線1113)



○知りたいあなたのこと
ー外見からはわからない障害・病気を抱える人ー 21分 一般
外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることも多いとい

令和2年度に人権教育推進委員会で購入した人権教育啓発映像資料(DVD)を安中市文化センター内の安中市図書館で貸し出ししています。学校や公民館などでの上映会や研修会などでぜひご利用ください。

人権教育啓発映像資料(DVD)を を ご活用ください



図書館ホームページ

ます。この作品では2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害を持つ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えていく内容です。

○声を聞かせて
(文部科学省特選)

40分 小学生以上

念願の携帯電話を買ってもらった優衣。だが優衣の友達の夏希のことが学校裏サイトに書き込まれ、擁護した優衣に悪意の矛先が向けられた。担任の青島、両親と夏希は優衣のために動き出す。ネット社会における人権問題の根底にあるものは何か、感動的なアニメーションで描き出します。

問合せ▶
困生涯学習課生涯学習係
(☎内線2245)